**令和５年度第１回岩国市環境審議会の結果について**

1. **会議名**

令和５年度第１回岩国市環境審議会

**2　開催日時**

　 令和５年7月26日（水）　午後2時00分から午後3時30分

**3　開催場所**

　 岩国市役所６階　全員協議会室

**４　出席した者の氏名**

　（委員）

　　藤野完二（会長）、木村圭一（副会長）

　　河本智勇、樋口隆哉、福田博一、宇野勝子、藤谷允子、角貞明、石元貞子、後田雅伸、木村繁

　（事務局）

　　環境部長：神足欣男、環境政策課　課長：藤井哲夫、環境企画班長：木原陽児、環境企画班：江頭遼

　（担当部署等）

　　環境事業課　課長：米原正和、企画室長：青木肇、企画室：山田寛、重村紀幸

　　株式会社東和テクノロジー　清水文雄、中村由幸、打海智行

　（関連部署）

　　環境施設課　課長：古本健二郎、下水道課　課長：瀬戸正義、都市排水施設課　課長：長津信之

**５**　**議題**

岩国市一般廃棄物処理基本計画の策定について

　**６　公開・非公開の別**

公開

**７　傍聴人数**

**０**人

**８　会議内容概要**

　　諮問書手交式

　　《審議等事項》

岩国市一般廃棄物処理基本計画の策定について

（事務局）

　 それでは、只今から令和５年度第１回岩国市環境審議会を開催いたします。

　　（事務局）

　　岩国市一般廃棄物処理基本計画の策定についての諮問書の手交式を行いますので、藤野会長、前のほうへお願いします。

（諮問書）

岩国市一般廃棄物処理基本計画の策定について（諮問）

このことについて、下記のとおり諮問いたしますので、御審議のうえ答申賜りますようお願いいたします。

記

１　諮問事項

　　　　　岩国市一般廃棄物処理基本計画の策定について

２　諮問の趣旨

　　　　　市町村は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、当該区域内における一般廃棄物の処理に関する計画を定めることになっています。

本市では、平成21年１月に、一般廃棄物処理基本計画を策定し、平成25年度、平成30年度に計画内容の見直しを行い、令和５年度（平成35年度）を目標年度として、持続可能な循環型社会の形成に向けて市民の皆様や事業者の皆様のご協力の下、市民・事業者・行政が協働した取り組みを行ってまいりました。

　　　　　この度、今年度末での現行計画の期間終了に伴い、令和20年度を目標年度とする新たな計画を策定するにあたり「食品ロスの削減の推進に関する法律」や「プラスチック資源循環の促進等に関する法律」の施行、国全体としての2050年に向けた脱炭素への取り組みなど、廃棄物処理に関する社会状況の変化等に対応すると共に、本市のごみ処理の現状と課題を踏まえつつ、循環型社会構築のため、一層の減量化・資源化を推進してまいりたいと考えております。

つきましては、岩国市一般廃棄物処理基本計画の策定について、御意見をいただきたく、諮問いたします。

（会　長）

 お受けしました。

（会　長）

　　本日は委員12名のうち11名に出席いただいております。岩国市環境審議会条例第6条第2項の規定により、本日の会議が成立していることを報告いたします。

　　次に、議事録の署名委員として樋口様、福田様、よろしくお願いします。

　　それでは、本日の議題について、担当課から説明をお願いします。

～担当課（環境事業課）から　（１）報告事項　①一般廃棄物処理の現状、②既定計画に示す施策の実施状況、③ごみ組成調査の結果について　資料に沿って説明～

（会　長）

　資料２（既定計画に示す施策の実施状況）の説明が少しわかりにくかったのですが、右側の「課題、改善点など」の欄に意見を書いて提出するということですね。

（担当課）

　　そうですね。「課題・改善点など」の枠の下の記入欄にご記入のうえ、後日ご提出お願いします。

（委　員）

　　ごみ組成調査について３キリの水切りについて、状態は良かったですか。

（担当課）

　目視なのですけれど、水切りされていないものもありました。水を切ってくださいと周知はしておりますが、実際にどれだけ水切りされているか具体的には把握しておりません。

（委　員）

　　資料１-３の収集ごみの排出量について、平成30年度から令和元年度にかけて少し減少が止まって、たぶん令和２年度以降は新型コロナの影響もあると思うのですが、令和元年度に排出量が少し上がっておりますが、原因は何でしょうか。

（担当課）

　平成30年度に災害がありまして、その影響があったと考えております。

（委　員）

　平成30年度に少し増えたのは災害の影響だと思うのですが、令和元年度に下がるのではなく、ちょっと増えているので何かあったかなと思ったのですが。

（担当課）

　令和元年度にサンライズクリーンセンターで受け入れを開始し、「汚れたプラスチック」も燃えるごみで出していただくようにしたことが増加の原因ではないかと思います。令和２年度以降は、コロナの影響も可能性の一つとしてあるかもしれません。

（委　員）

　今後、基本計画を立てるときは将来推計を実施していかれると思います。直近５年間の原因の確認が重要と思います。

（担当課）

　　今後は新プラ法に対する対応もありますので、環境施設課と連携しながらどういった進め方をすればよいか検討したいと思います。

（委　員）

　　直接搬入ごみの事業系ごみの中身について、何か情報はとられていますか。

（担当課）

　　サンライズクリーンセンターに直接搬入されるごみはほとんど事業系なのですが、内訳とか成分までは把握しておらず、重量のみの把握になっております。

（委　員）

　毎年、ごみの組成調査は実施しておられますよね。

　　（環境施設課）

　年に数回実施しておりますが、直接搬入ごみだけではなく収集ごみを含めた全体（ごみ焼却施設に入ったごみ全体）を調査しています。

（委　員）

　資料３で説明されたごみ組成調査である収集ごみのデータと、毎年実施のごみ組成調査であるごみ焼却施設のデータと合わせて、何か間接的にでも直接搬入ごみの情報が取れないかと思ったためです。

（担当課）

いろいろ模索しながらやっておりますが、一般家庭ごみ（収集ごみ）の中身の分別が現状どうなっているのかを調査の主目的として、定点に出している家庭ごみを採取して調べています。事業系ごみは直接搬入が多いので、調べるのが難しいと考えております。

（担当課）

収集ごみで岩国市のごみ量のおよそ６割強になりますので、収集ごみを重点に調査させていただいているところです。

（会　長）

 ほかに質問はございますか。

　（委　員）

　資料１-7の山口県内市町のリサイクル率ですが、岩国市が39.5％で美祢市の数字が見えにくいのですが、何パーセントですか。

（担当課）

　　美祢市のリサイクル率は97.6 ％です。

（委　員）

　なぜ、美祢市がこのように高いのか、分析できていますか。

（担当課）

　はい。美祢市は、可燃ごみを固形燃料化して、セメント工場でリサイクルされているため、リサイクル率が高くなっております。岩国市は、燃やした後の焼却灰をリサイクルしております。

（委　員）

　　先ほど汚れたプラスチックを可燃物へ回しているという説明がありましたが、サンライズクリーンセンター（ごみ焼却施設）での発電量は変わってきていますか。

（環境施設課）

　　毎年変わってきており、令和２年度が17,514 MWh、令和３年度が18,288 MWhになっております。これを場内や隣の余熱利用施設（スパ・サンライズ）で使い、残りは売電しております。

（会　長）

 ほかに何かございますか。

（委　員）

　　資料１-５の基地ごみについてですが、増加傾向にあります。米兵が増えればごみも増えると思いますが、基地の人口については把握されていますか。

（担当課）

　　基地の人口については、基地政策課にも問い合わせたのですが、公表されておらず把握できておりません。

（委　員）

　　それならば資料１-１０の市民一人当たりのごみ処理経費約2万7千円とありますが、資料１-１の行政区域内人口には外国人を含むとありますが・・・

（担当課）

　　資料１-１の外国人を含む人口には、基地の方は含んでおりません。

（委　員）

　　基地の方は含んでいないんですか。それなら、わかります。ただ、我々みんな税金を払っていろんなことをやっているので少し申し上げますが、基地のごみについては以前も議論されたことがあると思うのですが、ごみの処理費用について米軍が出しているのか、思いやり予算なのかわかりませんが、もし思いやり予算で出されているならば、我々はしっかり分別してごみを出して、一方、米兵は分別せず、後で日本人が分別しその経費を我々が負担するのかという話になってくる。個人的には米軍との共存共栄は必要だと思っているが、岩国市民として隣人として一緒にやっていくのだから、同じように分別をやっていただけるとありがたいと思います。一般廃棄物の計画を策定するなかでどのように盛り込むかわかりませんが、基地ごみの排出に関しても、我々も少し目を向けるべきだと個人的には考えています。

（担当課）

　　おっしゃる通りだと思います。基地ごみの分別に関しては人件費や時間などいろいろ問題もあると思いますが、基地政策課や環境政策課などと調整しながら対応していきたいと考えております。

　（会　長）

 ほかに何かございますか。

（委　員）

　　全体的に拝見して、浄化槽やし尿処理、資料３の手つかず食品など、これから15年の計画を立てるのであれば環境部だけでなく他の部課にも協力を求めて、岩国市全体で取り組んでいく計画を立てていただければと思います。

（担当課）

　　食品ロスとか関連して子ども食堂とか、それから下水道、浄化槽など、さまざまな分野があり、関係課と密に連携をとっておりますのでよろしくお願いします。

（委　員）

　　資料1-7で岩国市のリサイクル率が39.5％と非常に高いのは、令和元年度からサーマルリサイクルを始めたので、とのことですが、発電を含まない場合のリサイクル率が22.2 ％と県平均32.5 ％に比べかなり低いように思いますが。

（担当課）

　新聞、雑誌などの資源品回収量（定期収集量）が減っているのがひとつの原因ではないかと考えています。また、ペットボトルを回収協力店へ出していただいていますが、自社ルートで処理される店舗も増えており市の回収量が減っているのも要因です。

　（会　長）

ほかに何かございますか。ないようでしたら、次の説明お願いします。

～担当課から　（２）審議事項　①令和5年度審議会での論点とスケジュール

および②アンケート調査の実施について　資料に沿って説明～

（会　長）

 何か質問ございますか。

（委　員）

　　事業所アンケートについて、無作為抽出はわかるのですが、事業所の規模が大きいところだけに配布すればよいのでは。

（担当課）

　　大きいところだけでなく、小さい店舗にも配布しています。小規模店舗の方が多いかもしれません。

（委　員）

　　前回、５年前の回答率（事業所アンケート）はどのくらいですか。

（担当課）

　　前回の回答率は、５割を切っております。

（委　員）

　　市民アンケートの問7で、買い物のときに量り売りやばら売りを選んでいるか、の質問がありますが、回答の選択肢で「選んでいない」というところに、できれば（選んでいない理由など記載するための）括弧を付け加えたらよい、と思う。

量り売りやばら売りは、岩国より広島など都市圏で取り組みが進んでいて、岩国にどれだけ量り売りがあるのか知らない人が多いと思うので、（現状を把握するための）ヒントとなるようなことを記載してもらえばよいと思う。

（会　長）

ほかに何かございますか。

（委　員）

フードセンターなどでプラスチックトレイを回収されているが、プラスチック類として一緒に回収するのと比べて、どちらの回収経費が高いとか、把握はできますか。

（担当課）

　　店舗によって自社ルートで処理されていたりするので、把握は難しいのが現状です。

（委　員）

ごみ定点などでのプラスチック類の回収の袋を見ると、プラスチックトレイがかなり入っている印象があります。

（担当課）

市民の皆さんの生活の仕方、例えば買い物のついでにトレイを出すとか、もしくは普通にごみ定点に出すとか、その部分との関係があって、一概にどれがいいのかと言うと、なかなか難しいところです。

（委　員）

　　店舗の回収袋をみると、プラスチックトレイはかなりきれいに排出されています。

（担当課）

　　そういった出し方をしていただければよいと思いますが、色のついたトレイは資源化が難しいと聞いています。

　　（委　員）

一方で、汚れたトレイをきれいにするには水道水を余計に使うなど影響がありますが、市として、フードセンターなどの回収協力店に持っていって下さいとか、指定ごみ袋に入れてごみ定点に出して下さいといった指導はされていますか。

（担当課）

指導はいろいろさせていただくのですが、現実的にはやっていただける方とそうでない方もいますので、なかなか難しいところです。

（委　員）

　　きれいでないトレイをプラスチック類で出されたら、回収するのに市の経費は余分にかかるのですか。

（担当課）

　　それはありませんが、コンビニなど店舗に持ち込まれたトレイなどのごみは、仕分ける業者さんの負担がかかると聞いています。

（会　長）

 ほかに何かございますか。

（委　員）

　　市民アンケートについて、３つ質問あります。

1つ目は、前回５年前のアンケートの回答率について先ほど５割を切っているということでしたが、私は統計学的なことはよくわかりませんが、回答のほとんどは50代～70代の方だった。ある年代（40代以下）の回答が非常に少なかったのはいかがなものかと。では、どうすればよいのか聞かれたら答えづらいのですがそれが一つ。

２つ目は、ごみの問題に関しては基地も含めて一緒にやっていくわけですが、基地の関係者にもアンケートは配るのですか。

（担当課）

　　このアンケートは、対象が一般市民なので、基地の方は抽出できません。

（委　員）

　　そうですよね。でも、このデータ（ごみ排出量など）の中には基地ごみも入ってきますよね。

（担当課）

　　基地ごみも含めて市の施設で処理しています。

（委　員）

　　そのあたりがどうなのかと。いろいろ問題もあろうかと思いますが、やらなければならない問題に対して、あるところは抜いてしまっているというところにちょっと疑問を感じます。

３つ目は、市民アンケートの問17で、生ごみをたい肥化するなど自家処理を行っていますか、とありますが、マンションやアパートなどに住んでいる人は自分の庭やプランターを持っている環境ではないので、そういった自家処理できない人に聞くことがどうなのかというのが３つ目です。

（担当課）

　　年代の話でいうと、前回のアンケートでも世代の高い方が多く、20、30代の回答が少なかったという現状もあります。今後どのようにするか検討したいと思います。

また、生ごみのたい肥化についても庭がないと現実的に無理なので質問の仕方を検討します。

　（委　員）

確認なのですが、前回の回答率は市民アンケート、事業者アンケート共に５割を切っているのですか。

（担当課）

市民アンケートが42.8％、事業者アンケートが44.2％で、およそ４割という結果でした。

　（委　員）

今後、アンケート調査票も改善されると思うのですが、一枚めくったところの、「岩国市のごみ処理状況」というデータの紹介があるのですが、（説明が多すぎて難しく感じて）多分これ見た時にあぁやめたと、いう人がいるのではないかなという心配があって。いきなり1ページ目で示されると、少し拒否される方もいらっしゃるかなという心配があるので、最初の図はわかりやすく、工夫されたほうがといいかなと思います。

また、今回は紙で郵送ということですが、ネットで回答とかは難しいですか。

（担当課）

今回は紙での形となりますが、ネットでの回答とかは、次回以降の課題にしたいと思います。

（委　員）

さきほど委員からご指摘あった住宅のタイプについて、もしあった方がいいなということであれば、最初の回答者の属性をいろいろ聞いているところがあるのですけれど、そこで住居の形態というのも質問に入れていくという形もあるかなと思います。

市民アンケートの問26で、LINEで「家庭ごみの分別検索」を見ていますか、という設問ありますが、もしこれを見て初めて、こういうのがあるのかという、新たに知る人もいると思うので、その場でLINEに接続できるような形（ＱＲコードなど）を掲載すれば、情報提供にもなるかなというふうに思います。

今回、市民アンケートの質問がいくつか増えたとのことですが、結構ボリュームが多いようにも見えます。必要な項目は増やさないといけないと思うのですけれど、逆にもうこれはいらないかなというのは、思い切って削除するというのも今後検討されてはどうかと思います。

（担当課）

そうですね。前回から５年経過しての市民意識の推移を確認するという意味で、残しておいた質問が結構多いのですが、削除した質問もあります。

（会　長）

　　ほかに何かご意見ございますか。ないようでしたら、本日予定した審議を終了します。

（事務局）

　　本日は、委員の皆様には大変ご熱心にご審議いただきありがとうございました。

　　以上をもちまして、令和５年度第1回岩国市環境審議会を閉会いたします。